



わたしの 夢

川俣小学校6年 三浦 梨瑚りこ

何事も相談できて教え上手な 優しい先生になりたい

わたしの夢は、子どもたちが気軽に相談できて、勉強を教えることが上手な先生になることです。私が先生になりたいと思ったきっかけは、小学校1年生の授業中に、勉強が苦手な友達に教えたところ、とても感謝されて嬉しかったためです。また、小学校1年生の授業中に、勉強が苦手な友達に教えたところ、とても感覚することがとても楽しい」と感じました。また、私ももともと抱いていた先生のイメージと言えば「厳しくて『恐い』ものでした。しかし、川俣小学校で過ごした6年間で出会ったのは、優しく、親しみやすい先生たちで学校に楽しく通うことができました。そのため、私も子どもたちの話に興味をもって耳を傾けて、親身になって相談に乗れる先生になりたいと思うようになりました。友達に学校の先生になりたいということを話すと「梨瑚ちゃんなら絶対なるよ」と応援してくれています。先生になるために得意な英語と音楽を中心にこれからも勉強を頑張りたいと思います。

町長のひとこと
vol.57



中央区スポーツ少年団本部創設50周年記念式典に菅野仁一川俣町スポーツ少年団本部長と出席しました。中央区スポーツ少年団と川俣町スポーツ少年団との初めての交流会は、1979年のこと。中央区から団員と指導者、約50人が来町し、昼はソフトボールやサッカー、剣道、夜はキヤンプや盆踊り、そば打ち体験を通して交流を深めたそうです。それから47年間、中央区スポーツ少年団と交流が続いてきました。最近、中央区では団員増加による練習場の確保に大変苦労しているそうですが、当町では、団員こそ減少してくるものの、自然溢れる里山と広い体育館でのびのびとプレーができます。関係人口、交流人口づくりのためにも今後も交流会を継続していただきたいと思います。